

現行「おおた障がい施策推進プラン」モニタリング指標実績報告書 (おおた障がい施策推進プランPI2I) ※【 】内の数字は、令和4年度実績

施策目標	指標及び目標	実績(令和5年4月～8月)	所管課
1-1 障害福祉サービス等の充実	【指標】指導検査を受けた事業所数 【目標】指導検査を実施し、サービスの質の確保を図ります。	(1) 各指導を受けた事業所数 ①実地指導:5事業所【59 事業所】 (うち障害福祉サービス事業所:3事業所、障害児通所事業所:2事業所) ②集団指導:0 事業所(下半期に実施予定)【39 事業所】 (2) 主な指導内容 ハラスメント対策について、従業員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じること。 (3) 指導内容に対する主な改善報告例 ハラスメントに対する事業所の方針を明確化し、マニュアルの作成、配付を行った。 また、相談に応じ適切に対応するため、相談担当者を配置した。	福祉管理課
1-2 希望する暮らしの実現	【指標】障がい者グループホーム数 【目標】居住の場を確保するため、グループホームの整備を支援します。	(1) グループホーム新規開設のための整備費補助 申請件数:0 件【0 件】 (2) グループホーム定員数(令和5年4月現在) 総居室数:704 室【679 室】	障害福祉課
1-3 社会参加・社会活動の充実	【指標】「おおむすび」の取組の一つである自主生産品の販売実績 【目標】共同受注等に取り組む、工賃向上を図ります。	自主生産品の販売実績(8月1日現在) 3,572,450 円(梱包部材代金等含む)【10,971,305 円】	志茂田福祉センター
1-4 保健・医療の充実	【指標】医療的ケア児・者支援関係機関会議の充実 【目標】医療的ケア児・者に関する情報共有・発信により支援の充実を図ります。	(1) 開催回数: 1回【2 回】 (2) 主な議題 ①東京都医療的ケアセンターから、東京都医療的ケア児等のコーディネーターの現状についてお話をいただき、意見交換を行った。 ②令和4年度大田区障がい者実態調査結果の中から、医療的ケア児・者に関する部分について、報告を行った。 ③地域福祉課、地域健康課、保育サービス課、学務課から、大田区医療的ケア児に係る相談の流れについて、説明を行った。	障害福祉課

<p>1-5 障がい児支援の充実</p>	<p>【指標】特別支援教育の充実 【目標】全区立中学校に特別支援教室(サポートルーム)を設置し、特別支援教育の充実を図ります。</p>	<p>(1)設置状況 全区立中学校に特別支援教室(サポートルーム)を設置済</p> <p>(2)特別支援教育に関する研修 ①特別支援教育研修会:2回【3回】 ②特別支援教育コーディネーター連絡協議会:1回【2回】 ③幼稚園教諭・保育士合同研修会(特別支援教育):0回【1回】 ④初任者研修会(特別支援教育):0回【1回】</p>	<p>学務課 指導課 幼児教育センター</p>
<p>1-6 特性に応じた支援の充実</p>	<p>【指標】発達支援ネットワークの強化 【目標】関係機関との連携強化を図るため、ネットワーク事業を実施します。</p>	<p>(1)会議の開催状況 児童発達支援地域ネットワーク会議:1回【4回】 主な議題 分科会形式で以下のテーマで検討、研究する。 ①療育(児童発達支援/放課後等デイサービス)②進路③相談(障がい別)</p> <p>(2)こども発達センターわかばの家の個別連絡会 ①都立北療育医療センター城南分園:0回【1回】 ②教育センター:1回【1回】 ③幼児教育センター:1回【1回】 ④保育サービス課:1回【1回】 ⑤各地域健康課(4課合同:1回/各地域健康課:大森地域健康課:1回実施、その他各1回実施予定)【4課合同:1回/各地域健康課:各1回】</p> <p>(3)支援者向け講演会等 ①わかばの家 開催回数:0回(下半期に実施予定)【2回】 ②障がい者総合サポートセンターB棟 ・開催回数:2回【2回】 ・参加者数:「限局性学習症(LD)の支援」1回目 53名/2回目 43名 (区立小学校教諭対象)</p> <p>(4)保護者向け講演会【開催回数1回/参加人数46人】 ①わかばの家 開催回数:0回(下半期に実施予定)【1回】 ②障がい者総合サポートセンターB棟 ・開催回数:1回【2回】 ・参加人数:「発達障がいを学ぼう/どう考える?発達障がいの診断」参加者 32名</p>	<p>障がい者総合サポートセンター</p>

<p>2-1 相談支援体制の充実</p>	<p>【指標】多機関連携の強化 【目標】関係機関と連携して複合課題へ対応することで、相談支援の充実を図ります。</p>	<p>(1) 地域の相談機関との連携強化の取組 相談支援事業所連絡会:5回【12回】 主な議題 ①事例検討振り返り・滝山病院での事件について ②社会福祉協議会の取組について ③支援者会議の進め方のポイント ④サービス等利用計画について</p> <p>(2) 複合課題に対する関係者会議等 ①主な会議等 ・重層的支援会議、障がい者虐待コア会議 ・支援方針検討や情報共有、障害サービス利用の経過報告、退院前カンファレンス ②具体的な議題等 ・精神疾患が疑われるが治療につながらない方への支援等 ・精神科治療中断中の長女をサポートしていた高齢の母に認知症状が出始めた世帯への今後の支援介入のあり方について ・隣人へ繰り返し妄想的な苦情を訴える世帯への対応・支援について</p>	<p>地域福祉課 志茂田福祉センター 上池台障害者福祉会館 障がい者総合サポートセンター 地域健康課</p>
<p>2-2 障がいへの理解促進</p>	<p>【指標】障害者差別解消法の認知度 【目標】障がい者差別解消のため、パンフレット等を活用し、法の普及啓発を図ります。</p>	<p>(1) 法律の認知度 令和5年度区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査での数値(下半期実施予定) 【令和4年度】 内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある 4.2% 内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない 7.9% 聞いたことはあるが、内容までは知らない 36.7% 知らない 50.9%</p> <p>【参考:令和3年度】 法律の内容まで知っている 5.4% 法律があることは知っている 33.9% 知らない 60.3%</p> <p>(2) 認知度向上のための取組 ①障害者差別解消法パンフレット(児童向け版)を区内小学校4年生児童に送付した。 また、障がい者差別解消支援地域協議会委員と連携し、出張授業を行った。 ②障がい者差別解消支援地域協議会委員として民間事業所も参加し、東急バス株式会社での合理的配慮の提供などの取組について紹介していただき、意見交換を行った。</p>	<p>障害福祉課</p>

<p>3-1 災害・犯罪への対策</p>	<p>【指標】ヘルプカードの認知度 【目標】ヘルプカードの周知啓発に取り組み、災害時等における相互支援意識を啓発します。</p>	<p>(1) ヘルプカードの認知度 令和5年度区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査での数値(下半期実施予定) 【令和4年度】 知っている 43.2% 聞いたことはある 19.1% 【参考:令和3年度】 知っている 24.5% 聞いたことはある 19.9%</p> <p>(2) 認知度向上のための取組 引き続き、区内関係部署(障害福祉課・地域福祉課・市域健康課・特別出張所)で、周知・配布をしている。</p>	<p>障がい者総合サポートセンター</p>
<p>3-2 権利を守るまちの実現</p>	<p>【指標】成年後見制度の認知度 【目標】権利擁護のための制度の理解や適切な利用促進を図ります。</p>	<p>(1) 成年後見制度の認知度 令和5年度区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査での数値(下半期実施予定) 【令和4年度】 内容まで知っている 40.5% 内容までは知らないが言葉は聞いたことがある 35.5% 【参考:令和3年度】 内容まで知っている 38.3% 内容までは知らないが言葉は聞いたことがある 35.8%</p> <p>(2) 認知度向上のための取組 ①権利擁護支援検討会議:5回【10回】 ②成年後見制度等利用促進協議会:1回【2回】 ③おいじたく相談会:18回【43回】</p> <p>(3) 啓発方法 ①成年後見制度関係 ・成年後見制度専門相談(第1・2・4木曜日)開催 ・成年後見制度等出前講座開催 ②おいじたく推進関係 ・おいじたく相談会 原則毎週水曜日開催 ・おいじたくセミナー開催 ③広報関係 ・区や福祉関係の窓口に成年後見制度パンフレット及びおいじたくパンフレット等を配付</p>	<p>福祉管理課</p>